目黒学院高校同窓会だより　No.49
令和元年6月発行

桐 KIRI

目黒学院高等学校同窓会事務局
〒153-8631 東京都目黒区中目黒1-1-50
電　　話　03－3711－6556
編集発行人　会　長　市　川　　康　憲
ＵＲＬ.http://www.meguro.ac.jp/Kiri/

平成30年度会務報告

同窓会会長
市　川　康　憲
(昭和42年3月卒)

「時に、初春の令月にして、気淑よく風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす。」現代文的には、「時は初春の令月（何事をするにも良き月、めでたい月）、空気は美しく、風は和やかで、梅は鏡の前の美人が白粉で装うように花咲き、蘭は身を飾る衣に纏う香のように薫らせる。」この何とも美しい「万葉集」に書かれている文章の中から、新元号「令和」が誕生したそうです。

当然のことながら、私も家族も新元号の推測をしながら思いつくままにメモ書きをしていました。きっと、同窓生の皆さんも私たちと同じように新元号は「こんな感じになるのではないか」と漢字2文字に思いを巡らせていたことでしょう。

家族の一人が言いました、「単に2つの漢字を組み合わせればいいというものではなく、その二文字から日本人の胸奥に共通した響きを与えるものでしょうね」、まさに「令和」という言葉には、日本的な美しさや穏やかさ、そして激動する世界のリーダーシップたらんとする姿勢

も感じ取れます。その意味で、個人的には良く考えたものだと感心をしております。

さて、昨年度の同窓会ビックイベントは何といっても3年に一度開催している「同窓会総会・懇親会」ではないでしょうか。開催会場はいつもと同じ「新宿ワシントンホテル」でしたが、当日の7月28日は強烈な台風12号が東京を直撃するという状況の中、開催させて頂きました。マスコミに掲載された当日の天気概況には「台風12号が伊豆諸島の東を北上し、夜は関東の南を西進。伊豆諸島と関東から東海の一部が暴風域に。」あるいは「静岡県の石廊崎で最大風速が33メートル、三宅島で30.5メートル。紀伊半島から東北南部は雨で、関東や東海で激しい雨。」極め付きは「台風の影響でパトカーなど水没　小田原の有料道路。高潮で熱海のホテル、ガラス割れる」などの見出しが新聞紙上に踊っていました。その様な悪天候にもかかわらず、総会前の学校見学会には14人の方々にご参加を頂きました。

一方、ワシントンホテル内での総会・懇親会には、最悪の天候にも関わらず、関口隆司理事長・校長先生初め、須藤元校長先生、杉田副校長、ＰＴＡや父母の会会長、現職教職員の皆様が足を運んでくださいました。同窓生の皆さんも厳しい天候の中ではありましたが足を運んでいただき、立派な総会・懇親会を開催することが出来ました。これもひとえに、理事長・校長先生を初めとするご参加頂いた皆様のご支援の賜物であると心から感謝と御礼を申し上げます。お陰様で、重要案件の一つである向こう3年間の「同窓会役員人事」もご承認いただきました。今後とも同窓生のご支援ご協力を頂きながら、役員一同、母校発展のために努力をしてまいる所存です。

なお、懇親会のアトラクションには、お笑いコントグループの「電気ドンキー」が場を盛り上げ、さらには、受付の際に配布した「抽選番号」による豪華賞品授与式の頃には、台風の心配はすっかり消えておりました。次回総会では、さらに皆様に喜んでいただける日時や内容となるよう努力をしてまいります。ご期待ください。

母校の卒業式は3月10日、第71回卒業証書授与式が終了し、新たに311名が会員となられ、会員総数では32,130名となりました。卒業生に対して同窓会からは、昨年とは異なる高機能電波時計を卒業のお祝いとして贈らせて頂きました。

同窓生の皆様にお願いがございます。1点目は、同窓会の担い手が少なく、同窓会活動の運営が厳しい状況にあります。年間5～6回程度の役員会や会報編集の打ち合わせがあります。会場は母校会議室で行いますので、皆様のご協力をお願い致します。特に、生徒会活動を経験された皆様の積極的なご参加をお待ちいたしております。

2点目は、クラブ活動や同好会の活性化を図るため、何らかの支援策が必要であると考えております。そこで、先輩の皆様からの賛助会費納入をお願い申し上げます。

3点目は、同窓生で、社会の第一線で活躍されている方をご存知の方は、同窓会まで情報の提供をお願い致します。ご本人の許可を頂いたうえで、可能であれば会報でご紹介させて頂きたいと考えております。

終わりに、なお一層の同窓会活動へのご支援ご協力をお願い申し上げるとともに、会員各位、在校生ならびに理事長・校長先生を初め、教職員の皆様方の益々のご健康と、母校の発展をお祈り申し上げ、ご挨拶並びに会務報告といたします。

《訃報》

本会の第7代（昭和40年）と第9代（昭和42年～昭和45年）の会長を歴任され、長きにわたって相談役としてもご尽力された久我茂三郎（昭和20年卒）さんが、平成31年3月にご逝去されました。享年92歳でした。

ここに謹んで心からご冥福をお祈り申し上げます。

挨拶と学校の動向

理事長・校長
関口（せきぐち）　隆司（たかし）

男女共学8年目となりました平成30年度は、おかげさまで大過なくほぼすべての行事をとり行うことができました。令和の時代となりましたが、今後も「明朗・勤勉・礼節」の校訓のもと、教育内容の充実に邁進する所存です。

本年4月の新入生は、中学生6名、高校生380名（一貫コース内部進学生を含む）となりました。高校生の新入生数は平成8年度以来最大となりました。中学生の新入生のうち女子は半数の3名で、高校生の新入生のうち女子は173名となり、初めて100人を超える数字となりました。卒業生の皆様におかれましては、何卒引き続き「新生・目黒学院」へのご支援とご協力を賜りたいと念願しております。

以下簡単ですが学園概況のご報告を申し上げます。

１．学校行事等

前述の通り、平成30年度の目黒学院では、ほぼすべての行事を予定通り実施することができました。一貫コースの行事であるアメリカ研修旅行（ＵＳセミナーツアー）は、中学3年生と高校1年生の2学年合同で実施いたしました。また、高入生のための陸上記録会は平成30年度から「体育祭」となり、駒沢第１球技場で2日間実施する予定でしたが、初日の予行は実施できましたが2日目の本番は残念ながら雨天で中止となってしまいました。一貫生の体育祭もあいにく雨天となりましたが、急遽生徒を駒沢から学校へ移動させ、記念館でプログラムの一部を実施することができました。一方、梧林祭も初日は雨天でしたが来場者数は昨年を上回り、昨年同様生徒は活発に活動しておりました。例年通り中目黒駅前商店街主催の「鳴子よさこい祭り」にも参加して好評を得、駒沢の体育館を借用して球技大会も実施することができました。また、相互交流の協定を締結している福島県飯舘村の役場を11月に訪問し、菅野村長に対して義援金を手交いたしました。

昨年7月21日に、初めての試みである「オープンキャンパス」を実施いたしました。中学校・高等学校の様子を少しでも受験希望者に理解していただくため、模擬授業や様々なアトラクションを教職員と生徒が協力して開催し、好評を得ました。オープンキャンパスは今年も7月13日に実施予定です。

２．教職員の異動

専任教諭の林真琴先生、燕山良隆先生が定年退職されました。林・燕山両先生は引き続き専任講師として教鞭をおとりいただいております。また、事務の椎名俊哉先生が退職されました。一方、遠山裕美子先生（英語）を新たに常勤講師としてお迎えしました。

現在の専任教員数は69名（専任講師・常勤講師を含む）、専任職員数は10名（カウンセラーを含む）となっております。

３．部活動の状況

関東大会以上に出場したのは、ラグビーフットボール部、空手道部、ゴルフ部でした。ラグビー部は、2年連続全国大会出場を目指しましたが、惜しくも東京都予選決勝で敗退しました。一方、空手道部は桃太郎杯全国高等学校空手道錬成大会及び内閣総理大臣杯全国空手道選手権大会に男女とも出場しました。

４．大学進学状況

本校のホームページに本年度の大学進学実績を掲載しております。生徒の大半が大学進学希望であることは変わらず、志望進路実現のために教職員一同なお一層真剣に取り組んでいく所存です。勉学であれスポーツであれ、真摯にかつ夢中で取り組み、自分自身の考え方にこだわりを持った「有言実行」の生徒を今後も育てていきたいと考えております。

５．その他

平成30年度は、経済的に就学が困難な生徒の保護者に対して学費を免除する規定に基づき、6名に対して授業料の全額免除を行いました。規程に基づき授業料を免除した場合には、同窓会からその一部をご援助いただく予定であります。

本年3月にトンガからの生徒を1名受け入れております。現在トンガ人の生徒は合計4名で、高校3年生が1名、2年生が2名、1年生が1名となっております。彼らは全員体育コースに進学し、ラグビーフットボール部に所属しております。それ以外にも外国籍を有する生徒が入学、ラグビーフットボール部に入部しており、今年こそ全国大会出場を切に祈念するものであります。

会員紹介

「私」の学生時代

クールポコ。
小野（おの）　まじめ
（平成8年3月卒）

杵と臼を使い餅つきのスタイルで笑いを広げるお笑いコンビ、ワタナベエンターテインメントに所属する卒業生の活躍をインタビュー形式で紹介します。

「クールポコ。」小野　まじめ(本名：小野　頼孝)

目黒学院ラグビー部出身、在学中、東京大会で準優勝。大学では私立青森大学ラグビー部に所属し、青森学生選抜に選ばれる。

(臼を担いでいる手前の方が小野まじめさん)

○どのような学生時代でしたか？

とにかくラグビーがやりたくて、目黒高校に入りました。受験の時は、倍率も高かったが「ラグビー部に入ります」と言って入学しました。

○当時のポジションはどこでしたか？

ウイングという足の速いところです。足だけはチョット速かったんです。

○当時のラグビー部の練習はどのようでしたか？

めちゃくちゃキツかったです。

360日練習、休みは年に4～5日あれば良かった。毎朝、7時には学校へ行ってウエイトトレーニング、昼休みも。学校が終わったら、多摩川の河川敷に行って練習でした。厳しい3年間でした。

ラグビー部は、寮に入らなくてはいけませんでした。寮は田園調布の沼部駅の近くにありました。ただ自分が一年生の時は、１つ上の先輩達の部員数がかなり多かったので、自分は二年生から入りました。

○勉強はどうでしたか？

授業が休憩時間でしたね。今思えば、勉強をもっとやっていれば良かったと思います。正直、ラグビーだけやっていればいいかなあと思っている学生時代でした。

○卒業後はどうされたんですか？

ラグビーを続けたくて関東の大学に行きたかったのですが、自分が強くなかったので、行ける大学を探しました。最終的に私立の青森大学に入学しました。青森で寮に入り、4年間ラグビーをやりました。目黒で鍛えた勢いで「自分が4年生の時に強いチームを作ろう」と思って気合いを入れたのですが、試合には勝てず心が折れていきました。

そんな中でも、2年か3年生の時、青森学生選抜に選ばれ活躍出来ました。

○卒業後、お笑いの業界に入られたんですね。

大学を卒業して、すぐお笑いをやろうと思いました。お笑いは昔から好きだったんです。けれども高校生の時は、芸人になれるとは思っていなかったし、なろうとも思っていなかったんです。

でも、ラグビーの試合でもムードメーカーの感じでやってきてて、楽しいのりとかは好きだったんです。本当は、社会人でもラグビーをやりたいと思っていたんですけど、やっぱりそこまで出来るレベルは無いと、自分では分か

っていました。
それで普通に働くか、勝負に出るかと考えた時に“1回しか無い人生だからちょっと勝負に出ようかな”と。大学2年の時に、卒業したらお笑いをやると決めていました。
目黒でがっちり精神面は鍛えられたので、その考えは曲がることはなかったですね。

○お笑いはやりたいと思ってやれるものですか？
僕らの時代は、本当に正直どうやったらいいのか分からなかった。吉本さんで学校があるとかは知っていたんですけれど、お金もなかったので、スクールには入れませんでした。
当時、雑誌の情報のところで、「相方募集」の書き込みが有りました。それで、ちょっと行ってみようかと。そこで何人か相方を捜している人と会って、そこからやっと色々情報を得て、ローカルでライブをやって、いくら払えば出られるとか、そこでやっと初めてお笑い芸人になれる方法とか、色々分かりました。良くやったなあと思います。
それから相方とコンビを組んで、1年間フリーでやってからワタナベエンターテインメント事務所に入りました。

○事務所にはすぐに入れたんですか？
いいえ、僕が行こうと思った時が、新人発掘ライブというのを始めたばかりだったんです。100組以上来て、そんな中で出られる人が2、3組です。「ちょっと1回行ってみよう」と、初めてのネタ見せで、ライブに出させてもらえることになったんです。
しかし、初めて出たライブは、もう本当にひと笑いも無かったですね。期待され、いざ出て3分間のネタでした。今でも覚えています。今で言うチョーやばかったです。
次の時も落ちたんですけれど、「手伝いをやらせて下さい」と喰らいつきました。
ワタナベ事務所が初めてだったんで、ちょっとあがいてみようかと思いました。
手伝いでもいいから頑張るようにしたところ、また、ライブに出れるようになりました。そして、笑いも取れるようになって、その上のライブにも何回か勝ち上がれました。

○その当時の生活はいかがでしたか？
お笑いでの収入はゼロです。バイトをやっていました。
目黒の同級生が建築関係の会社の息子だったので、住み込みで働かせてもらいました。
心より感謝しています。今では、家族ぐるみの仲の良い友です。

○お笑いをやってきて変化となったタイミングは？
やっぱり餅つきネタでテレビに出られるようになったことです。
「なーーにいーー！？やっちまったなぁ！！！！」
相方が「男は黙って、」の餅つきネタです。
アイデアは何となく思いついちゃったんです。僕らの時代、エンタの神様がスゴイ盛り上がっている時で、同じ内容の同じネタの繰り返しが流行っていました。
それを何とか形で作りました。みんなが言ってくれそうなワードって言いますか、「やっちまったな！！」とか、餅つきをやったら面白いんじゃないかなと、後は相方とお互い話し合いました。

○ネタで使っているあの「臼」は重たいでしょう。
最初は本当に重い30kgの臼を使っていました。最近は、プラスチック製を使っています。

○今後の展望や信条をお聞かせ下さい。
そうですね、もうすぐ20年になります。
僕らコンビは、昔の出会いと人に恵まれていることがあって、結構、助けてもらっています。ですから、長くはやりたいなあと思っています。
キャラクター的にも“めでたい”イメージが「餅つき」なので、めでたい芸人になっていければいいと思います。
結婚式や会社の周年パーティ等、おめでたい系の営業が多いですね。

○お笑いをやって来られて、一番嬉しかったことは何ですか？
仕事をやらせていただき、感謝しています。続けているのが一番、嬉しいですね。もちろん、お客さんが笑顔になることも嬉しいことです。

○最後に、後輩に激励を一言、お願いします。
本当に人生は一度きりなんで、とことん自分のやりたい人生に挑戦してほしいと思います。

○好きな言葉、座右の銘と芸名の由来をお聞きしました。
「謙虚に生き、感謝忘れず」
芸名の「小野まじめ」は、先輩がまじめ過ぎるからと付けていただいたそうです。
その通りの方でした。

◆私の履歴書◆

日本旅行作家協会会員
鈴木（すずき）　一吉（かずよし）
（昭和41年3月卒）

2018年7月28日（土）同窓会の学校見学会、総会・懇親会開催の機会に、母校見学が出来るとのことで、同級生の一人と一緒に卒業以来52年ぶりに校舎を訪ねた。昔の面影が懐かしい本館と、卒業後に建てられた施設を視察してから、同窓会の懇親会に参加。

関口隆司現校長とも歓談し、私が３年時に生徒会副会長を務め、生徒会長だった機械科の宮川君と二人で、当時の校長であられた関口敏郎先生のご自宅を訪問し、趣味の写真の話しをした思い出話などで盛り上がった。

私が入学したのは普通科だったが、昼間の大学へ行かせてもらえる家庭環境ではなかったために、卒後の進路は就職と夜間大学への進学と決め、進学先選びには、日本史非常勤講師の渡辺　章先生が、勤めながら中央大学法学部を卒業されていた事。また、同大学法学部卒の永尾先生のご紹介で、「中央大学の職員として働きながら同大学へ進学しては」と、ご指導をいただけたことが、私の人生進路を大きく拓く機会になったと思っている。

幸い、秋に大学職員の就職試験に合格、大学入試は、早稲田大学社会科学部、中央大学法学部法律学科、政治学科の２大学を受験し幸運にも全て合格した。憧れていた早稲田へ進学するか、中央へ進学するかを決める時、前述の指導への恩誼も考えて、中大職員に合格したのだから、早稲田より中央に入学する方が通学にも便利だろうし、出来れば司法試験の受験をとの想いで中央大学第二法学部法律学科へ入学した。

大学生活は、１年の学年末試験が実施された以外は、毎年続いた大学紛争の影響でレポート試験の連続。お陰で司法試験を目指すことも忘れ、なんとか無事に4年で卒業も出来た。卒業の翌年には当時は人気の就職先だった出版関連への就職が適い、昭和47年2月に医歯薬出版という医学総合出版社に入社した。

今年のゴールデンウイークは10連休だと大騒ぎしていたが、医歯薬出版は入社当時から完全週休2日制で、翌年以降には夏休み制度が出来たので、毎年20日間の有給休暇と合わせて30日程度の休暇が取得出来たうえ、会社も組合も自己研鑽のために有給休暇の完全消化を薦めていた。そのため毎年３～４回は海外旅行へ行く趣味を生かしながら、自社以外の出版数社から海外旅行関連等の書籍を30冊程度出版した。

この間、自社の仕事でも国際会議参加のツアーを企画、ツアーコンダクターの資格を取得して学会同行を企てたが、生憎と出発前に腹膜炎で入院となり本業には役立たなかった。しかし、この資格で休暇と副業を兼ねて、大手有名旅行社のブランドツアーで欧州や南北米などの約40カ国に添乗。その後も旅行と執筆の両方を楽しみながら、定年後の６年間を含めるとこれまでに130カ国程の国々を訪れる機会に恵まれた。

最近は海外へ年に3～5回、国内の温泉やドライブには月に1度程度の頻度で出掛けているが、年々と旅に同行してくれる友人が減っているのを寂しく感じている。

最後に、本稿を読まれた同窓生のどなたかでも海外旅行に興味が有り、旅の話での懇談する機会や、旅に関する講演や催しをすることがあれば、同窓会事務局を通じて、いつでも気軽に連絡して欲しい。勿論、同窓生の皆さんの集いには、無料奉仕でお伺いする。

法律相談無料（夜間・土日休日もご対応）
お電話はこちらへ **044（211）4401**

【主な取扱案件】
交通事故被害・後遺症　債権回収・企業法務
相続手続・遺言書作成　顧問相談　労働問題
男女問題・離婚　成年後見　刑事事件など

川崎パシフィック法律事務所
代表弁護士　種村　求（横浜弁護士会所属）
事務局長　大川信也（昭和57年卒）
川崎駅から徒歩１分　ホームページ　川崎パシフィック　検索
メール問合せ　info@kawasakipacific.com

より美しく―より速く
まごころを伝える情報づくりが
私たちの仕事です。
情報化社会に素早く対応できるよう最新のシステムで、みなさまのおこしをお待ちしています。なんでも気軽にご相談ください。

つつみ印刷株式会社
〒060-0009 札幌市中央区北9条西23丁目　TEL（011）641－5373
FAX（011）611－4343

◆劇「花より乱闘」教師出演◆

関東亜希人（かんとう　あきひと）
（平成23年3月卒）

4月7日、平成23年卒業の関東亜希人さんが出演する演劇を観てきた。劇団名は「劇団めでたし」、第６回公演になるとの事。劇場は、JR阿佐ヶ谷駅下車3分程の場所にある「アルシェ」という小劇場だ。現地に着くと入場者が既に数人並んでいた。75分の教師と個性溢れる生徒たちの学園ドラマである。関東亜希人さんは教師役、なかなか堂々とした演技をしていた。

内容は、劇団員が皆若者であることや演題が「花より乱闘」であることから、エネルギーの発散が主題と感じつつ観ていた。しかしさにあらず、後半部分は生徒たちと教師の心の交流がしっかり表現できており、ホロリとする場面もあった。

関東亜希人さん、「劇団めでたし」の益々の活躍を祈りつつ劇場を後にした。（市川記）

劇団へのお問合せ：medetashi2016@yahoo.co.jp

母校クラブ紹介

地域に愛される部活動へ

目黒学院高等学校鉄道研究同好会
顧問　土田（つちだ）　恒（ひさし）

平成29年度に卒業したＫ君の言葉です。「地域に愛される部活を目指します」。平成29年度まで、私たちのメインの活動は夏と春に行われる模型コンテストへの出品、地方鉄道交流会への参加、文化祭での展示といったところでした。しかし、平成30年度、私たちの活動は大きな変化をとげました。きっかけは平成29年度の12月に参加した「ティーンズフェスタinめぐろ2017」です。これは目黒区の中学生・高校生が自分たちで企画したイベントで地域を盛り上げるお祭りです。なにげなく部員たちに「参加してみる？」と声をかけたところ、普段はあまり外部との接触を好まない彼らが、参加する意思を示しました。６月から学生たちだけで６回程の打ち合わせを行い、私たち鉄道研究同好会は「喫茶N」という企画を提案しました。喫茶スペースでNゲージの体験運転を行うというものです。体験運転の会場にはいままで生徒たちが作製したジオラマ作品を並べ、見た目にも楽しい企画となり多くの地域の方々に喜んでいただけました。

この会場に目黒区の児童館の館長さんが何人かいらしており、一人の方が私たちの活動に関心を持ってくださいました。その方は息子さんが目黒学院のOBということで、５月に行われる平町児童館のオープニングセレモニーに参加して欲しいとお声をかけてくださったのです。平成30年度、最初の活動がこの平町児童館のオープニングセレモニーとなりました。私たちはティーンズフェス

タと同じく、Nゲージの体験運転を行いました。(余談ですが、この際、高校生徒会も開会式の司会を務め、夏休みのお祭りにもお手伝いの依頼を受け、お化け屋敷企画で参加しています。)

夏休みが明けてからの活動に大きな変化が現れました。下目黒福祉工房の「あすなろまつり」、中央町児童館の「スマイルプラザフェスティバル」と次々に地域のイベントへの参加以来が舞い込んできたのです。

「あすなろまつり」にはNゲージ体験運転で臨みましたが、思ったほど来客はありませんでした。部員たちから「Nゲージだけでなく、プラレールを使ってやってみたい」という意見が出され、「スマイルプラザフェスティバル」では初となるNゲージとプラレールのコラボレーション企画で臨みました。もっともプラレールは児童館の職員の方がメインでしたが、こちらは大盛況で、次年度も是非参加して欲しいとのお言葉もいただきました。

平成30年度に行われた「ティーンズフェスタinめぐろ2018」にもNゲージとプラレールのコラボレーション企画で参加し、前年度以上に多くの地域の方々に楽しんでいただきました。「ティーンズフェスタinめぐろ2018」には吹奏楽部と高校生徒会も参加し、こちらの企画も大変盛況でした。また、参加した生徒達も長い準備期間を経て実現した各々の企画が成功したことで、達成感が得られたと思います。顧問の私は次なる活動の舞台を生徒に提供すべく、東奔西走しております。

これからも「地域に愛される部活」を目指して、地域との交流を意識した活動をより充実させていきたいと思います。今後とも応援よろしくお願いします。

(注) 全国高校生地方鉄道交流会
地域の鉄道の活性化を目標として、高校生がテーマとなる鉄道の沿線の写真コンテストや地域活性化のためのプレゼンテーションを行う。

部長からのメッセージ

鉄道研究同好会
部長　池上(いけがみ)　嗣陽(しよう)

鉄道研究同好会部長の池上　嗣陽です。部長になって一番嬉しかったことがあります。それは児童館の方にありがとう、と言われたことです。それは部、全体に対してかもしれませんが、自分でやると決めて、自分が主体となってやったことだったのでとても達成感がありました。部長として模型製作の技術は上がっていませんが、僕自身の人間性は確実に上がっていると思います。

(池上君は写真の中央)

総会の様子を御覧いただけます
表紙の写真をスキャンしてください

スライドショーを御覧いただけるAR機能付き！
無料アプリ「COCOAR2」で写真をスキャンすると
スライドショーをご覧いただけます。ぜひお試しください。

①無料アプリのダウンロードはこちらから
iPhone版　App Store でダウンロード　Google Play で手に入れよう　Android版

②アプリ起動

③スキャンボタンを押して写真にかざします。

２０１８年度決算報告

２０１８年４月　１日から
２０１９年３月３１日まで

（収入の部）　（単位：円）

科目	予算額	決算額	摘要
同窓会費	2,894,700	2,894,700	804名分
入会金	438,000	438,000	219名分
賛助会費	550,000	473,000	161名分
総会会費	160,000	93,000	32名分
寄付金	140,000	150,000	母校、PTA、父母の会等
雑収入	43,000	25,562	会報掲載広告代及び預金利息
当期収入合計	4,225,700	4,074,262	
前年度繰越金	8,307,693	8,307,693	
収入合計	12,533,393	12,381,955	

（支出の部）

科目	予算額	決算額	摘要
総会費	1,275,000	1,099,713	
行事費	1,200,000	1,087,236	
通信費	60,000	9,685	
雑費	15,000	2,792	
会議費	95,000	24,669	
役員会費	50,000	12,663	出席者お茶代
委員会費	25,000	2,106	
通信費	20,000	9,900	開催通知郵便料
補助費	380,000	350,000	
部・同好会補助	350,000	320,000	在校生部活動補助
文化祭補助	30,000	30,000	梧林祭祝い金
事務費	385,000	240,895	
人件費	250,000	151,000	役員費他
事務消耗品費	10,000	7,189	
交際費	100,000	62,680	謝礼、慶弔費
雑費	25,000	20,026	賛助会費振込手数料
会報費	2,013,400	1,912,129	
会報『桐』印刷費	375,000	365,472	14,100部
振込用紙及び印刷費	81,000	74,012	
宛名用紙及び印刷費	129,600	163,457	
封筒・封入作業費	226,800	208,036	
発送費	1,200,000	1,100,720	郵便料
雑費	1,000	432	
記念品	420,000	481,120	卒業生記念品代312名分
奨学金	400,000	400,000	在校生奨学金3名分
予備費	100,000	29,160	
当期支出合計	5,068,400	4,537,686	
次年度繰越金	7,464,993	7,844,269	
支出合計	12,533,393	12,381,955	

［特別積立金］　（単位：円）

保管種別	本年度末	前年度末
定期預金	7,000,000	7,000,000

２０１９年度予算書

２０１９年４月　１日から
２０２０年３月３１日まで

（収入の部）　（単位：円）

科目	予算額	前年度予算額	増減
同窓会費	2,718,900	2,894,700	△ 175,800
入会金	518,000	438,000	80,000
賛助会費	500,000	550,000	△ 50,000
総会会費	0	160,000	△ 160,000
寄付金	0	140,000	△ 140,000
雑収入	21,000	43,000	△ 22,000
当期収入合計	3,757,900	4,225,700	△ 467,800
前年度繰越金	7,844,269	8,307,693	△ 463,424
収入合計	11,602,169	12,533,393	△ 931,224

（支出の部）

科目	予算額	前年度予算額	増減
総会費	0	1,275,000	△ 1,275,000
行事費	0	1,200,000	△ 1,200,000
通信費	0	60,000	△ 60,000
雑費	0	15,000	△ 15,000
会議費	55,000	95,000	△ 40,000
役員会費	30,000	50,000	△ 20,000
委員会費	5,000	25,000	△ 20,000
通信費	20,000	20,000	0
補助費	380,000	380,000	0
部・同好会補助	350,000	350,000	0
文化祭補助	30,000	30,000	0
事務費	320,000	385,000	△ 65,000
人件費	180,000	250,000	△ 70,000
事務消耗品費	15,000	10,000	5,000
交際費	100,000	100,000	0
雑費	25,000	25,000	0
会報費	2,046,000	2,013,400	32,600
会報『桐』印刷費	375,000	375,000	0
振込用紙及び印刷費	80,000	81,000	△ 1,000
宛名用紙及び印刷費	170,000	129,600	40,400
封筒・封入作業費	220,000	226,800	△ 6,800
発送費	1,200,000	1,200,000	0
雑費	1,000	1,000	0
記念品	500,000	420,000	80,000
奨学金	400,000	400,000	0
予備費	100,000	100,000	0
当期支出合計	3,801,000	5,068,400	△ 1,267,400
次年度繰越金	7,801,169	7,464,993	336,176
支出合計	11,602,169	12,533,393	△ 931,224

2018年度決算報告について

2018年度は、総会・懇親会の開催年に当たったため、当初予算においては、単年度収支で84万円の支出超過を予定して開始されましたが、収入、支出とも概ね予算を下回る結果となり、予算に対して38万円の好転となりました。
この結果、単年度収支は46万円の支出超過となり、次年度への繰越金は784万円となりました。

１．収入の部
同窓会費、入会金は予算どおり収受し、賛助会費、総会会費、雑収入は予算比で減少、寄附金は若干の増加となりました。
この結果、収入合計では、予算に対して約15万円の減少となりました。
２．支出の部
予算計上した総会費をはじめとした多くの経常支出大科目において節減努力した結果、予算対比で減少しましたが、在校生への卒業記念品の見直しにより記念品が増加しました。
また、母校クラブ活動で各種大会等へ出場する際の同窓会応援旗を予算外で作成したことにより、予備費の一部を使用しました。
この結果、支出合計では、予算に対して53万円の減少となりました。

〔会計監査報告〕

私たちは、2018年4月1日から2019年3月31日までの平成30年度における会計監査を行い、次のとおり報告する。
会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて監査を行った結果、公正かつ相違ないことを認めます。

2019年5月4日　　会計監査　加藤　明宏
会計監査　長谷川恵子

2019年度予算について

2019年度収支予算は、2019年度の事業計画と2018年度の収支実績とを勘案して編成しました。

１．収入の部
同窓会費は755名、入会金は259名を収納予定人員と積算し、また賛助会費は前年の実績を勘案して延べ500口を収納予定として予算計上しました。
本年度は、総会・懇親会が開催されないことに伴い、総会会費及び寄附金収入については、予算未計上となりました。
２．支出の部
本年度の事業計画は、①同窓会だより「桐」の発行、②在校生の部・同好会に対する補助、③卒業記念品の贈呈、④在校生に対する奨学金支出等が主なものです。
これ以外の経常的運営費については、次回の総会・懇親会開催に備えて極力抑制した予算を編成しました。
この結果、次年度への繰越金は780万円を予定し、単年度収支では4万円の支出超過予算となりました。

平成30年度総会・懇親会　出席者のご芳名

平成30年7月28日(土)、新宿ワシントンホテル内「ウエストシティホール＆ウエディングアイ」にて開催された同窓会総会・懇親会にご出席された方は、下記の方々です。

（敬称略）

〈ご来賓　学校関係者　5名〉

理事長･校長　関口隆司
副校長　杉田一己
事務局長　高野宏昭
事務長　増井茂樹
事務局　白石裕紀

〈ご来賓　恩師　3名〉

前校長　須藤亘啓
恩師　土田恒
恩師　藤牧朗

〈ご来賓　PTA･父母の会　2名〉

PTA副会長　鈴木由紀
父母の会会長　加藤秀紀

〈親子二代卒業　4名〉

H. 2年卒　福井丹三
H.30年卒　福井柊磨
S.63年卒　中村智博
H.30年卒　中村こころ

〈会　員　30名〉

S.21年卒　澤田允孝
S.30年卒　木村義男
S.37年卒　梅木英雄
S.38年卒　平井洋
間瀬春正
S.40年卒　五十嵐紘一
池尻篤信
太田正義
S.40年卒　岡恒久
武山義正
森田政雄
S.41年卒　鈴木薫
鈴木一吉
安田憲二
S.42年卒　市川康憲
S.43年卒　安達富夫
S.44年卒　小林隆
S.49年卒　中田昌夫
S.50年卒★高木英二
★鶴見正幸
S.53年卒　小林秀二
S.56年卒　加藤明宏
S.57年卒　大川信也
S.63年卒　池上竜
H. 8年卒　中川泰嘉
小牧竜次
高村英典
H.14年卒　大倉考裕
H.25年卒　孫澤源
H.26年卒　長谷川恵子

総出席者 46名
（★印:同伴者2名を含む）

同窓会賛助会費　納　入　者　の　ご　芳　名

平成30年度分の賛助会費として、本年3月末までに納入のあった方は、
下記の161名の方々です。ここに、謹んでご報告申し上げます。

★印は新規納入者

ア★青木雅利
秋本康夫
浅野進
安達富夫
阿部幸雄
荒川晴紀
有我洋

イ　飯田諭史
飯塚豊樹
五十嵐正宏
石神俊和
石崎友輔
石澤忠邦
石渡博巳
石綿健二
市川康憲
稲葉明夫
稲葉孝司
乾貞一郎
★乾剛夫
乾明成
井上悠
今井勇次
岩井宏樹
岩間高志

ウ　氏家正智

ウ　梅木英雄
★梅澤敏明
梅村昭一

エ　榎本誠四郎
遠藤彰
遠藤尚之

オ　大岡進一
大河原行雄
太田正義
太田雄貴
大野芳男
大場敬介
大山靖郎
奥野和夫
奥山純夫
尾崎雅彦
押谷美和
小野寺正志

カ★笠原次男
★加藤明宏
金子栄一
金子雄一郎
神谷守
川瀬年茂

キ　岸大将
北根益巳
木村義男

ク　久我茂三郎
楠山信之
栗田幸之助
★黒木将馬

コ　小岩国雄
河野大樹
小佐田吾郎
小嶋靖夫
小清水和敏
★小宮アキラ

サ　齋藤進
齋藤浩
齊藤泰之
五月女進一
坂上秀雄
坂正勝
佐久間重男
佐藤二郎
★佐藤治行
佐藤義隆
狭山正則
澤田允孝

シ　志賀政美
宍戸優仁
柴田徳久
柴田治男
★嶋圭太郎
志村教俊
蕭欣志

ス★須賀雅治
須賀義則
杉本法男
鈴木茂樹

ソ　外山昇

タ　高野昌弘
★高橋達也
高橋弘樹
高橋弘樹
高柳進
滝口勇
滝澤國夫
武田敬
田中伸一
★田中高志
★田邊翔
楢敏彦

テ　弟子丸茂男

ト　東郷東彦
東条論二郎
富樫良一

ナ　永井賢一
★永野裕人
★永野敬大
中村重和

ニ　西村俊祐
西山友一郎

ネ　根城裕典

ノ　野寺伸一

ハ　橋本真尚
長谷川恵子
★幡野明弘
★林賢一
原和義

ヒ★樋渡紀之
平井洋
平野啓二
廣木正和

ヒ　廣沢隆興
広瀬和夫

フ　深野博
藤井茂
藤兼英夫
藤野保
藤森琢磨
船木昭男

ホ　洞口芳彦
堀山勉

マ　前嶋喜義
松井勉
松村清見
松本剛直
松本誠治
丸山元吉

ミ　三浦宏一郎
三神和夫
三澤宏延
水谷清
皆川益雄
宮城勇
宮田仁
★宮田士

ム　村石圭樹
村木開

モ　森江一郎

ヤ　矢内敏郎
★八木橋真
矢口勝巳
矢島正貴
安田憲二
★矢部あづさ
山口和男
山口邦治
山本大介
山森敦

ヨ　吉澤誠
米田幸介

ワ　和久井和之
渡辺貴大

計161名
（内新規納入者21名）

賛助会費の納入をよろしくお願いいたします！

賛助会費：一口1,000円

賛助会費は一口1,000円で、口数は任意となっております。お志のある方は、複数口のご協力をよろしくお願い申し上げます。

（注）

1．納入にあたっては、同封の郵便局用「払込取扱票」をご使用のうえ、お振込みください。
手数料負担は有りません。

2．以下の銀行口座へのお振込もご利用出来ます。

三井住友銀行　多摩支店
普通預金　6786789
口座名義　目黒学院高等学校同窓会

・お振込みの際には、同封「払込取扱票」の氏名後に記載の会員番号を、振込人名の前に入れて下さい。
・振込手数料は、ご負担下さい。

◆恒例「親子二代卒業生」ご紹介◆

青木	雅利（父）	昭和58年3月卒
	信太郎（子息）	平成31年3月卒
川口	治（父）	平成 5年3月卒
	笑奈（息女）	平成31年3月卒
小金澤	英城（父）	平成 3年3月卒
	珠緒子（息女）	平成31年3月卒
榊原	正男（父）	平成62年3月卒
	雅人（子息）	平成31年3月卒
佐藤	研一（父）	昭和59年3月卒
	大輔（子息）	平成31年3月卒
髙野	芳彰（父）	昭和60年3月卒
	大地（子息）	平成31年3月卒
瀧澤	満（父）	平成 7年3月卒
	伶奈（息女）	平成31年3月卒
東條	正尚（父）	昭和60年3月卒
	栞奈（息女）	平成31年3月卒
山口	貴（父）	昭和61年3月卒
	将（子息）	平成31年3月卒

◆同窓会役員氏名◆

平成30年度の総会・懇親会にて、選任された本会の役員の方々は、次のとおりです。

なお、任期は令和3年の総会開催時までです。

役職	氏名	卒業年
会長	市川康憲	昭和42年
副会長	木村義男	昭和30年
〃	平井洋	昭和38年
相談役	土方国任	昭和31年
〃	武田広	昭和33年
〃	安達富夫	昭和43年
総務	鶴見正幸	昭和50年
〃	高木英二	昭和50年
〃	小林秀二	昭和53年
広報	小林隆	昭和44年
〃	加藤明宏	昭和56年 ※
〃	長谷川恵子	平成26年 ※
会計	大川信也	昭和57年
会計監査	加藤明宏	昭和56年
〃	長谷川恵子	平成26年

（※印は会計監査を兼務します。）

（総会席上で紹介される本会役員一同）

◆母校見学会◆

平成30年7月28日、第4回となる学校見学会が同窓会総会・懇親会に先立ち、午後3時30分から母校にて開催されました。

当日は、あいにくの台風接近による雨、風が強い悪天候でしたので、残念ながら予定されていても参加出来なかった方もおられました。

母校の高野事務局長が校内を案内してくださり、参加者はそれぞれの高校時代の記憶を懐かしく思いながら、見学をされていました。

見学会終了後、昭和21年3月卒の澤田允孝（さわだ　のぶたか）様から、在学当時の社会情勢下での校内の様子など、貴重なお話をしていただきました。澤田様の、ご高齢を思わせないとてもお元気なお姿と、母校に対する熱き思いに感動いたしました。

令和元年度 同窓会委員会の開催について

令和元年度同窓会委員会を、下記のとおり開催いたします。

各クラスの委員の方は是非、ご出席ください。

特に、平成29年・30年・31年3月に卒業された、各クラスの正・副委員の皆さんは、年一回開催の委員会ですので欠席のないよう、お願いいたします。

記

●日　時　　令和元年8月3日（土）午後2時～
●場　所　　目黒学院高等学校内　会議室
●議　題　　①今後の同窓会運営について
〈報告事項〉
①平成30年度決算報告の件
②令和元年度予算の件

〈本紙への広告掲載を募集します！〉

同窓会報「桐」は、毎年6月頃に14,000部発行されます。

経営している会社や勤務している会社の案内広告、あるいは扱っている商品の宣伝等、広告の掲載を募集します。

広告原稿は、掲載を希望される方が版下又はデータによる完成原稿でお受けいたします。

なお広告の受付は、編集の都合上、毎年3月末とさせていただきます。

広告のサイズや掲載料など詳細につきましては下記URLの同窓会ホームページ、「お問い合わせ・ご意見フォーム」からお問い合わせください。

http://www.meguro.ac.jp/Kiri/

◆クラス会開催報告◆

昭和32年3月卒の34回目のクラス会が、平成30年11月17日の午後1時から、目黒線奥沢の「蔵乃家」にて開催されました。

卒業後60年以上も経過し、メンバーの高齢化により参加者は、年々、減少しています。今回の参加者は6名と、これまでの中では最も少ない参加とはなりましたが、懇談は尽きることなく盛り上がり、次回も元気で再会することを約して、お開きとなりました。

〈お詫びと訂正〉

前号No.48号8頁掲載の「会員紹介」で岩崎様のお名前に誤字がございました。

正しくは、「岩崎泰一郎」でした。

ここに訂正をし、深くお詫び申し上げます。